

〔 横浜みなとみらいホール 〕  
平成 26 年度業務計画及び収支予算  
〔公益財団法人横浜市芸術文化振興財団〕

- ※ 文中の事業欄において、  
●：主催事業。○：共催事業  
を示します。
- ※ 文中の達成指標欄において、  
□：定量的指標。■：定性的指標  
を示します。

### 1 施設の概要

施設名	横浜みなとみらいホール
所在地	横浜市西区みなとみらい 2-3-6
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階地上7階建て
敷地・延床面積	専有延べ床面積 18,688㎡
開館日	平成10年5月31日（大ホール）・2月1日（小ホール）

### 2 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町 2 産業貿易センタービル 1 階
代表者	理事長 澄川 喜一
代表者設立年月日	平成 3 年 7 月 10 日
指定期間	平成 24 年 4 月 1 日から平成 34 年 3 月 31 日まで

### 3 施設運営にかかる基本方針

#### (1) 基本的な方針

横浜みなとみらいホールは、第二期指定管理事業計画書における 10 年ビジョンとして、“豊かな「音楽社会」を拓くコンサートホール”の実現を掲げています。このビジョンを実現するため、「常時、世界の魅力ある多彩な音楽をだれもが楽しめるホール」、「次代における音楽と市民生活の関係を拓く」、「音楽社会を支える人材を輩出し、人材の循環を起こす」、「地域社会、市民生活への貢献」につながる取組みを総合的に展開し、芸術文化の役割を最大限発揮します。

公共のコンサートホールとして、音楽を発信する、音楽と出会う、音楽に親しむなど様々な要素で事業・運営を行うことで、横浜みなとみらいホールが市民生活の中に音楽を根づかせるきっかけとなるよう取り組んでいきます。

## (2)平成 26 年度の業務の方針・達成目標

横浜みなとみらいホール「政策協働型指定管理 10 年」(平成 24-33 年度)の中期第一期(平成 24-26 年度)の最終年として、目標に掲げた「新たな長期目標に向けたアクション始動」を達成します。「横浜芸術アクション事業」や協力公演での質の高い鑑賞事業のほか、芸術創造発信、若手芸術家支援、こどもや親子を対象にした事業、アウトリーチなど、様々なアプローチを行うとともに、広報、施設運営・管理、あらゆる視点で、コンサートホールの可能性を拡大・展開し、中期第二期へつなげていきます。

特に 26 年度は、あらゆる取組みにおいて“こども”を意識した、教育普及的な面での展開に力を注ぐとともに、「東アジア文化都市」政策において、専門性を活かした発信・国際交流に取り組んでいきます。また芸術面では、池辺館長の関わりをより明確に打ち出し、横浜みなとみらいホールの特色をさらに発信していきます。

### 【事業】

「東アジア文化都市」政策を見据えて、平成 26 年度は「東アジアの音文化」を多様に展開していきます。横浜市をアジアの「文化都市」の中心として定着出来るように発信していきます。また、平成 25 年度は大型の鑑賞事業が続きましたが、平成 26 年度は基本的な鑑賞事業は継続しつつ、市民への音楽普及・育成活動を活発化させ、もう一度土台作りに励みます。

### 【運営】

お客様のニーズに的確に応え、施設の有効活用や利用促進に努めるとともに、協力公演の充実により、ホールのブランディングにつながる演奏会を開催します。ご来場のお客様をお迎えするレセプションについても、研修等の充実によりホールの顔としてお客様対応の質の向上に努めます。また、25 年度に更新した予約システムの本格的な運用を開始し、よりよいお客様対応につなげていきます。

### 【広報】

事業や運営面を含め横浜みなとみらいホール全体のプロモーションを引き続き計画的・戦略的に行います。情報発信や施設 PR の手法も多様化してきているため、効果や効率性の検討も含め取り組んでいきます。また、ホール周辺の地域や企業・他団体、プレス関係等との連携を強化し、ネットワークを活用しながら街の魅力とともにホールのブランド力もいっそう高めていきます。加えて、ファンドレイジングについても積極的に取り組んでいきます。

### 【施設維持管理】

安全・安心・快適な施設環境を維持するため、大規模修繕に関する協議を横浜市とともに、計画の具体化に努めます。また、26 年度は 2 月に 2 週間の施設点検日を設定しており、修繕等の進行管理・調整を各所と連携をはかりながら進めます。危機管理・安全管理については、大規模震災等に備え日常的な意識の向上と訓練を引き続き重ねて参ります。

## 4 経営

### (1) 施設機能の最大発揮と総合力ある経営について

<p>[目指す成果／アウトカム]</p> <p><u>自主事業と施設貸出事業の最適配分を考えた経営で、ホールの機能を最大限に発揮する</u></p> <p>自主事業と施設貸出事業を含めたトータルなプロモーション活動を展開することにより、横浜みなとみらいホールが持つ機能を最大限発揮します。音楽文化を通じて、都市活性化に寄与するとともに地域社会への貢献度を高めていきます。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p><u>(ア) 組織内連携と経営強化</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 両グループ横断的プロモーション・セールス活動の実施</li> <li>● ファンドレイジング活動</li> </ul> <p><u>(イ) 財団全体での総合力発揮</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「東アジア文化都市」を契機に財団事務局や他施設との連携をとりつつ、ホールの専門性を発揮します。</li> </ul> <p><u>(ウ) 社会的協働・連携による取組み</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 教育機関や地元オーケストラ団体との更なる協働・連携に取組みます。</li> <li>● 各機関・団体等との協働・連携に際し、池辺館長の関わりについても打ち出していきます。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <p><u>(ア) 組織内連携と経営強化</u></p> <p>□ 企業協賛金・助成金獲得 46,775 千円</p> <p><u>(イ) 財団全体での総合力発揮</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 東アジアにおける文化都市の中心となるような音楽文化事業の実施・発信。</li> </ul> <p><u>(ウ) 社会的協働・連携による取組み</u></p> <p>□ 教育機関との協働・連携企画 5 団体以上</p> <p>□ 市内学校の職業体験 3 件以上受入</p> <p>□ 地元オーケストラ団体との協働・連携企画 1 件以上</p>

### (2) 地域の活性化及び都市の魅力づくりの達成について

<p>[目指す成果／アウトカム]</p> <p><u>観光振興や創造都市形成に向けた取り組みに協力し、魅力ある街づくりに努める</u></p> <p>周辺の商業施設、専門文化施設間の連携を一層強化し、来館者や来街者が「ホールのある街」を実感できるよう努めます。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p><u>(ア) 「横浜文化中心」戦略</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域住民へホールや事業の PR を引き続き行います。</li> <li>● MMcc を活用し、集客や街のにぎわいに貢献します。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <p><u>(ア) 「横浜文化中心」戦略</u></p> <p>□ 近隣マンション自治会への協力・情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ マンション内設置のチラシラックのメンテナンス 毎月 1 回</li> <li>・ 西区役所を通じた区内転入者へのチラシ配布</li> </ul>

<p>(イ) <u>ビフォア・アフターコンベンション対応の充実</u></p> <p>●近隣施設等の情報を収集し、協力体制を強化します。</p> <p>(ウ) <u>文化施設連携事業の展開</u></p> <p>●他の文化施設等との連携をはかり、相乗効果につなげます。</p> <p>(エ) <u>商業連携の推進</u></p> <p>●近隣商業施設との連携を強化し、地域全体でのにぎわいを創出します。</p> <p>(オ) <u>当日参加可能事業の情報発信</u></p> <p>●ツイッターで直前公演情報や当日券有無を発信</p> <p>(カ) <u>パブリシティの強化</u></p> <p>※詳細は6-(3)「プロモーションの充実について」を参照</p>	<p>随時</p> <p><input type="checkbox"/>MMcc の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世話人会への参加情報交換 毎月1回</li> <li>・ホールへ呼び込むプログラムの提案</li> </ul> <p>(イ) <u>ビフォア・アフターコンベンション対応の充実</u></p> <p>■パシフィコ横浜のイベント情報の把握</p> <p><input type="checkbox"/>ビフォア・アフターコンベンションとしてのMMH 利用誘致 年1回以上</p> <p>(ウ) <u>文化施設連携事業の展開</u></p> <p><input type="checkbox"/>横浜能楽堂との提携</p> <p><input type="checkbox"/>横浜美術館との提携</p> <p><input type="checkbox"/>横浜赤レンガ倉庫1号館との提携</p> <p>(エ) <u>商業連携の推進</u></p> <p><input type="checkbox"/>クイーンズスクエア等とのイベント協力 年4回</p> <p>(オ) <u>ツイッターでの発信</u></p> <p><input type="checkbox"/>年間100ツイート</p> <p>(カ) <u>パブリシティの強化</u></p> <p>※詳細は6-(3)「プロモーションの充実について」を参照</p>
---	---

## 5 事業

### (1) 多様な鑑賞機会を提供し音楽文化の裾野を広げるための取り組み

<p>[目指す成果／アウトカム]</p> <p><u>ア 世界的に評価の高い公演等、日本を代表するホールにふさわしい事業を充実させる</u></p> <p>平成26年度は横浜が東アジア文化都市に選ばれている時期にあたります。東アジアにちなんだ演奏会を多数開催、その中でも平成25年度演奏会形式で制作した「竹取物語」のハノイへの引越しオペラ公演を予定、一方的に受け入れるだけでなく横浜からの発信事業となります。横浜芸術アクション事業は継続的に開催、世界的なオーケストラ公演が通年で開催され、日本を代表するコンサートホールとしての存在感を示し、横浜の都市ブランド向上に寄与します。</p> <p><u>イ 個性を発揮し、様々な人に継続して来館してもらえるよう、創意工夫を凝らした公演等を提供する</u></p> <p>国内を代表するコンサートホールとしての音響特性を最大限活かしつつ、音楽の発信基地として</p>
--

の位置付けの中で、多様な音楽ジャンルに触れていただける事業ラインナップを揃え、市民の多様なニーズに応えます。それによって、他ジャンルのファン層が来館するきっかけを作り、横浜みなとみらいホールの顧客層につなげます。また、定期的開催される低料金の事業シリーズを展開して、クラシック音楽鑑賞者層を戦略的に育てていきます。

当ホールに来場する、横浜市民をはじめとする来場者の方に、心躍る体験を提供していきます。

[取組内容]	[達成指標]
<p><u>ア 世界的に評価の高い公演</u>  <u>(ア)横浜芸術アクション事業として下記の事業を実施</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●山田和樹指揮スイス・ロマンド管</li> <li>●レナード・スラットキン指揮リヨン管</li> </ul> <p>(イ)クラシックファンが喜ぶような自主イベントを文化庁等の支援を受けながら企画実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●P. ヤルヴィ指揮NHK交響楽団横浜定期</li> <li>●ジルヴェスター・コンサート</li> <li>●ファインデュオ</li> <li>●オルガン・リサイタル (2回)</li> <li>●ジョン・エルウィス テナー・リサイタル</li> </ul>	<p><u>ア 世界的に評価の高い公演</u>  <u>(ア)横浜芸術アクション事業</u></p> <p><input type="checkbox"/>顧客満足度 80%以上</p> <p><input type="checkbox"/>合計入場者数 3,000人以上</p> <p>(イ)自主イベント</p> <p><input type="checkbox"/>顧客満足度 80%以上</p> <p><input type="checkbox"/>合計入場者数 4,300人以上</p>
<p><u>イ 創意工夫を凝らした公演</u>  <u>(ア)多様な音楽ジャンルのイベントを開催</u>  <u>(平成26年度はアジア)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●台湾オペラ「梧桐雨」</li> <li>●ビヨンド・ザ・ボーダー音楽祭</li> <li>●アジア音楽祭</li> <li>●デーモン閣下の邦楽維新 Collaboration</li> </ul> <p>(イ)これからの鑑賞者育成のため入門用事業として定期的に低料金コンサート(子ども向けの「おんがくひろば」は無料)を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●オルガン1ドルコンサート</li> <li>●みなとみらいクラシック・クルーズ</li> <li>●みんな集まれ!おんがくひろば</li> </ul>	<p><u>イ 創意工夫を凝らした公演</u>  <u>(ア)多様な音楽ジャンルのイベント</u></p> <p><input type="checkbox"/>顧客満足度 80%以上</p> <p><input type="checkbox"/>合計入場者数 3,500人以上</p> <p>(イ)低料金コンサート</p> <p><input type="checkbox"/>オルガン1ドルコンサート 9回実施 入場者数9,000人以上</p> <p><input type="checkbox"/>みなとみらいクラシック・クルーズ 11回実施 入場者数11,000人以上</p> <p><input type="checkbox"/>みんな集まれ!おんがくひろば 6回実施 800人以上</p>

(2)新たな音楽文化を提案する、優れた創造・創作の拠点を形成するための取り組み

[目指す成果/アウトカム]

ア 独自性の高い事業、国内外から注目を集めるものを企画制作する

横浜みなとみらいホール独自の企画によって、新たなる創造の場・創作拠点となり、国内外から注目を集めるホールになります。国内のホールにも企画を巡回させ、横浜みなとみらいホールの名を発信します。

イ 「横浜芸術アクション事業」を実施する

成功に終わった平成 25 年度の「横浜音祭り 2013」の成果を踏まえ、平成 27 年度も予算の範囲内で魅力的な演奏会を開催していきます。特に Yokohama Hands-on Opera Project の集大成ともいべきハノイでの新作オペラ「竹取物語」上演企画を開催、ホールの独自性を東アジアでアピールしていきます。また、優良なオーケストラ公演を開催することで、日本を代表するコンサートホールとしての存在感を示し、横浜の都市ブランド向上に寄与します。

[取組内容]

ア 独自性の高い事業

(ア)横浜みなとみらいホール独自の

小ホールオペラシリーズの開催

- 「セビリヤの理髪師」「竹取物語」

(イ)現代作曲家シリーズ

- 若手作曲家を起用した「Just Composed2015」

(ウ)オルガン・シリーズ

- オルガンを持つ他文化施設との連携事業の実施

イ 横浜芸術アクション事業

(ア)横浜オリジナルのオペラ事業「Yokohama Hands-on Opera Project」をベトナムで開催します

(イ)優良なオーケストラ公演などを横浜に招致し公演を開催します

5-1-ア参照

[達成指標]

ア 独自性の高い事業

(ア)小ホールオペラ

- 総入場者数 600 人
- 顧客満足度 80%

(イ)現代作曲家シリーズ

- 若手作曲家に 1 曲新作を委嘱
- 入場者数 200 人

(ウ)オルガン・シリーズ

- 他都市連携事業 1 回

イ 横浜芸術アクション事業

(ア)横浜オリジナルのオペラ事業

- ベトナムでオペラ公演を開催します
- 同時にハノイ市内で小学校等へアウトリーチを実施します。
- 入場者数 600 人

(イ)「横浜芸術アクション事業」

(3) 次代を担う芸術家、音楽と市民をつなぐ人材を育み、活動の機会を提供するための取り組み

[目指す成果／アウトカム]

ア 若い音楽家の育成や支援に取り組む

若手の芸術家を鑑賞事業への出演や、体験型ワークショップ講師として起用し任せることで、日本の音楽芸術振興につながるような芸術家育成拠点となります。若手の演奏家としての活動支援と

ともに、普及啓発を担う人材としての成長を支援します。

イ 芸術家や音楽と市民をつなぐ人材の育成に取り組む

市民が鑑賞行為以外のさまざまな形での音楽文化との関わりを通じ、積極的に芸術とコンタクトし合う気風を醸成し、音楽文化の定着をより強固にします。市民の方々が芸術家と市民をつなぐ「コーディネーター」となり、活躍する土壌を作ります。

[取組内容]

ア 若い音楽家の育成や支援

(ア) オペラ

- 小ホールオペラ

(イ) 現代作曲家シリーズ

- Just Composed 開催
- 関連プレトーク開催

(ウ) みんな集まれ！おんがくひろば

- 6 回開催予定

(エ) 邦楽ワークショップ

- 2 回開催

イ 芸術家や音楽と市民をつなぐ人材の育成

(ア) 「コンサートを作ろう」企画修了生

- 企画参加修了生が活動を継続する
- 年間 6 回プロデュース事業開催

(イ) 音楽大学との連携事業の継続を通じ、大学  
生が地域での活動に資する提携の在り方を  
探ります。

- 音楽大学リレーションシッププログラム

(ウ) NPO 法人と提携し、より地域の市民の方々  
の目線に立った企画立案に励みます。

- NPO 法人との提携

(エ) オルガン

[達成指標]

ア 若い音楽家の育成や支援

(ア) オペラ

- 若手歌手登用 6 人以上

(イ) 現代作曲家シリーズ

- 若手作曲家 登用
- 若手演奏家 1 名
- プレトークの運営はコンサートを作ろうメン  
バー

(ウ) みんな集まれ！おんがくひろば

- 若手演奏家 6 人以上登用
- 合計入場者数 800 人

(エ) 邦楽ワークショップ

- 参加者 200 人以上

イ 芸術家や音楽と市民をつなぐ人材の育成

(ア) 企画修了生による協力イベント

- 修了生の参加者数 30 人以上
- 合計入場者数 300 人以上

(イ) 音楽大学との連携事業

- 提携大学数 4 校

(ウ) NPO 法人と提携

- 提携 NPO 法人数 5 団体

(エ) オルガン

●オルガニスト・インターンの育成	□1年をかけて1名の育成
●1ドル・コンサートでの修了生起用	□演奏会起用 2名

(4) 未来を担う子どもたちに音楽を知り、学び、体験する機会を提供するための取り組み

<p>[目指す成果／アウトカム]</p> <p>・子ども対象の、音楽による創造活動体験の企画を施設内外で提供する。また、障がいのある子どもや介護を必要とする子どもなどへの取り組みも行う</p> <p>横浜みなとみらいホールで15年かけて最も力を入れてきた子ども対象事業について、今後10年の展開も視野に入れて、事業を再編しつつ、活性化させていきます。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>(ア) 季節ごとに子ども向け事業を開催し、1年を通してどの世代の子どもにも音楽に触れられる機会を提供します。</p> <p>春「こどもの日」「金の卵」 夏「遊音地」 秋「心の教育」「0歳からのオルガン」 冬「アウトリーチ」</p> <p>(イ) ホール固有のジュニアビッグバンドの育成</p> <p>●みなとみらい Super Big Band の育成</p> <p>(ウ) 障がいのある子ども向けにオルガンワークショップを実施する</p> <p>(エ) 音楽専科教員と連絡体制を整え、相互の信頼関係を強化する</p>	<p>[達成指標]</p> <p>(ア) 子ども向け事業</p> <p>□入場者数 40,000人 □顧客満足度 80%以上</p> <p>(イ) ホール固有のジュニア演奏団体</p> <p>□参加者 20名</p> <p>(ウ) 障がいのある子ども向けオルガンワークショップ</p> <p>□年間2回開催</p> <p>(エ) 音楽専科教員と連絡体制を整え、相互の信頼関係を強化する</p>

(5) 音楽文化の持つ可能性、文化芸術の持つ社会的な力を活かし、地域社会に貢献する取り組み

<p>[目指す成果／アウトカム]</p> <p>・多様なアウトリーチ等の研究をし、社会貢献する</p> <p>アコースティックな楽器をテーマとして、様々な楽器の多様なアウトリーチ事業を展開し、ノウハウを蓄積していきつつ、音楽に触れにくい地域の方々に音楽文化の魅力を直接伝え、地域への愛着を育てます。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>(ア) 小学校・障がい者施設をはじめとしてアウトリーチ事業に積極的に取り組みます。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>(ア) アウトリーチ事業</p>



<ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校</li> <li>●障がい者施設</li> <li>●病院・福祉施設等</li> </ul> <p><u>(イ)障がいのある方へのサービス拡充に努めます。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●一般層向け、これからの鑑賞者向けに入門用事業として定期的に行うコンサートへの障がいのある方の参加者数の向上</li> <li>●自主企画に障がい者割引料金の設定</li> <li>●視覚障がい者対象のオルガンワークショップ</li> </ul> <p><u>(ウ)「街の音楽院」シリーズ等レクチャーコンサート</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●街の音楽院</li> <li>●その他のレクチャー(コンサート)等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□3校</li> <li>□1施設</li> <li>□1施設</li> </ul> <p><u>(イ)障がいのある方へのサービス拡充</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□障がいのある方の総参加者数 年間延べ 70人</li> <li>□80%以上</li> <li>□2回開催</li> </ul> <p><u>(ウ)レクチャーコンサート</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□総入場者数 250人</li> <li>□街の音楽院 3回開催</li> <li>□その他レクチャー等 3回開催</li> </ul>
---	---

(6)ホールに蓄積された音楽情報やネットワーク、ノウハウを活かした市民の音楽活動支援

<p>[目指す成果/アウトカム]</p> <p><u>ア 主催公演の記録化、ホール公演情報の整理</u></p> <p>主催公演の写真・映像・音声の記録化を実施していきます。記録化した情報の活用方法を webでの発信を中心に検討していきます。</p> <p><u>イ 音楽情報や国内外の芸術家や機関とのネットワークを活用し、市民の音楽活動へのコーディネーター機能を発揮</u></p> <p>芸術家や諸機関とのネットワークを生かし、「街の音楽院」などの講演イベント企画の中で市民の音楽活動に資するような講演会を実施していきます。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p><u>ア 公演情報の整理</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●主催公演の写真の記録を残します</li> <li>●主催公演の映像の記録を可能な範囲で残します</li> <li>●主催公演の音声の記録を可能な範囲で残します</li> </ul> <p><u>イ コーディネーター機能</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●街の音楽院や自主イベントにまつわる講演会で半数程度を市民音楽活動に役立つ内容にします。5-(5)-ウ参照</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <p><u>ア 公演情報の整理</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□写真記録 100%</li> <li>□映像記録 50%</li> <li>□音声記録 70%</li> </ul> <p><u>イ コーディネーター機能</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□3回</li> </ul>

## 6 運営

### (1) 利用者ニーズや利便性に考慮し、柔軟に対応して施設機能を最大限に発揮するための取り組み

<p>[目指す成果／アウトカム]</p> <p><u>ア 柔軟に対応して、市民の創作活動・発表の場として広く認知されるよう取り組む</u> 多様な利用希望や利便性に配慮した柔軟な対応により、当館の特性を活かした施設提供を行います。また、市民の創作活動や発表の場として広く認知され愛される取組みを展開します。</p> <p><u>イ クラシック音楽以外の公演を提供し、音楽を楽しむ層の拡大に取り組む</u> クラシック音楽に留まらない、多様で充実したプログラムを提供します。</p> <p><u>ウ 来館者に心地よい適切な環境が提供され、日本を代表するコンサートホールに相応しいと感じられる、質の高いサービスを安定的に提供する</u> 利用者の満足度を高めるべく、利用者と直接意見を交わす場を設けてニーズを探ります。インターネットを活用したアンケートも定期的実施します。また、第一線でお客様と接するレセプションの接客能力のブラッシュアップの為、年間を通じて研修を行います。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p><u>ア 市民の創作活動・発表の場として広く認知</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ホームページ上に音楽練習室やレセプションルーム等のプロモーション画像等を掲載し認知度を高めます。</li> <li>● コンサートカレンダーやホームページ上において、特徴的な貸館事業を様々な切り口から紹介していきます。</li> </ul> <p><u>イ 音楽を楽しむ層の拡大</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 比較的使用方法に制限が少ないレセプションルームを活用した多様なジャンルの音楽利用の誘致</li> </ul> <p><u>ウ 質の高いサービスを安定的に提供</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 利用者懇談会の実施</li> <li>● インターネットを活用した顧客・潜在顧客アンケートの定期的実施</li> <li>● レセプション研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新採用時研修</li> <li>・ フォローアップ研修</li> <li>・ チーフ研修</li> <li>・ コーチャー研修</li> <li>・ 全体研修</li> </ul> </li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <p><u>ア 市民の創作活動・発表の場として広く認知</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 年度内に実施</li> <li>■ コンサートカレンダー・ホームページ 年間：2事業掲載</li> </ul> <p><u>イ 音楽を楽しむ層の拡大</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ レセプションルームでのクラシック以外での音楽利用：3公演以上</li> </ul> <p><u>ウ 質の高いサービスを安定的に提供</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 年1回実施</li> <li>□ 年間1回実施</li> <li>□ レセプション研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4日間</li> <li>・ 採用6か月後1回</li> <li>・ 年1回</li> <li>・ 年1回</li> <li>・ 年1回</li> </ul> </li> </ul>

・避難訓練	・年2回以上実施
-------	----------

(2) 日本を代表するとともに、市民にとって身近で愛されるコンサートホールとしてのサービスとホスピタリティを提供するための取り組み

<p>[目指す成果／アウトカム]</p> <p><u>ア 施設の貸出について、音楽専門ホールとしての特性を前提としつつ利用促進に取り組む</u> レセプションルームのサロンコンサート等での単独利用など、大・小ホールに限らず、各室場の特性を活かした利用促進を図ります。</p> <p><u>イ 利用者のニーズ、満足度等を把握し分析を行い、事業の企画や運営を改善する</u> 自主事業では、全事業でアンケートを実施し、鑑賞者・参加者のニーズを探ります。出演者・企画者等ともアンケートを共有しあうことで、お客様の声を次回以降の企画に生かします 運営では、利用者懇談会やアンケートを引き続き実施し、利用者のニーズを探ります。また、お客様と第一線で接するレセプションистのマネージャーとのミーティングを定期的実施し、現場の声を共有してホール運営に活かします。</p> <p><u>ウ 施設見学の希望</u>に対しては、利用者の妨げとならないよう配慮のうえで、可能な限りホールの利用下見・見学を対応します。その他、イベント的な要素を加えたホール見学会を実施し、ホール利用を検討している方だけでなく、多くのお客様にホールをより深く知って頂く機会を設け、ホールのファンの獲得につなげます。</p> <p><u>エ ホールの発信性を高め、音楽文化の振興に寄与する商品を揃え、ショップ等で販売する</u> 来館者サービスの一環として、ショップでは「音楽のある生活を楽しむ」をコンセプトに様々なグッズを展開しています。引き続き「横浜みなとみらいホールでしか買えないもの」や気軽にお買い求めいただける商品ラインナップを更に充実させていきます。</p> <p><u>オ 公演等に関する問い合わせや相談に応じ、当館公演等のチケットを販売する窓口を設けます</u></p> <p><u>カ 主催者の求めに応じ、公演開催時には飲料等の飲食サービスを提供できる体制を用意する</u> 利用者サービスの一環として、専門業者に委託して、開場中のドリンクコーナーの営業を行います。また、公演の内容に応じたより効果的な営業形態について引き続き可能性を探ります。</p> <p><u>キ 託児サービスを提供する</u> 専門業者に委託して、公演中の託児サービスを実施します。また、託児サービスの存在を多様な角度から積極的に周知し、委託業者にも協力を仰いで、託児サービスのニーズと効果を探ります。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p><u>ア 利用促進</u></p> <p>●コンサートでのレセプションルーム単独利用 ●利用率</p>	<p>[達成指標]</p> <p><u>ア 利用促進</u></p> <p>□年8件 □利用率</p>

<p>大ホール 小ホール リハーサル室 レセプションルーム 音楽練習室</p> <p><u>イ 満足度の高い運営</u></p> <p>●レセプションリスト・マネージャーミーティングの実施</p> <p><u>ウ 施設見学</u></p> <p>●楽しみながら施設を見学できるイベント的な下見会を実施。 ●通常のホール利用下見対応</p> <p><u>エ ショップ販売</u></p> <p>●売れ筋の傾向を見極め、新規取扱い商品の開拓 ●立ち寄りたくなるショップのPR</p> <p><u>オ 問合せ相談・チケットセンター窓口</u></p> <p>●市民のホールとして、市民優遇できるチケット設定を行います。</p> <p><u>カ ドリンクコーナー</u></p> <p>●営業形態の検討</p> <p><u>キ 託児サービス</u></p> <p>●HP等を活用した託児サービスの周知 ●託児サービスの利用者アンケートの実施</p>	<p>*95% (H24実績 100%) *98% (H24実績 98%) *50% (H24実績 70%) *20% (H24実績 23%) *77% (H24実績 75%)</p> <p><u>イ 満足度の高い運営</u></p> <p><input type="checkbox"/>年 10 回</p> <p><u>ウ 施設見学</u></p> <p><input type="checkbox"/>年 1 回実施 <input type="checkbox"/>年間 90 件</p> <p><u>エ ショップ販売</u></p> <p><input type="checkbox"/>新規取扱い商品 5 点以上 ■レイアウト変更など、ショップの入口リニューアル</p> <p><u>オ 問合せ相談・チケットセンター窓口</u></p> <p><input type="checkbox"/>チケットの市民先行販売 3 公演以上</p> <p><u>カ ドリンクコーナー</u></p> <p>■効率的かつ効果的営業形態を検討</p> <p><u>キ 託児サービス</u></p> <p><input type="checkbox"/>年 2 回以上 <input type="checkbox"/>年 1 回以上</p>
--	--

### (3) プロモーションの充実

<p>[目指す成果/アウトカム]</p> <p><u>ア 適切な商圈・対象層の設定、媒体の選択を行い、効率的・戦略的プロモーションに取り組む</u> プロモーションを強化し横浜みなどみらいホール全体としての発信力を高めることによって、ホールの魅力を伝え、お客様との信頼関係を構築し、「共感」を軸とした独自ブランドを形成します。</p> <p><u>イ Web ツールを活用し、施設案内や公演情報だけでなく利用者が必要とする様々な情報を見やすく提供する</u> 購買前行動に直結しており、低コストで機動性に優れた WEB サイトを中心としたオウンドメディア</p>
---

アの充実を図ることにより、発信力を強化します。

<p>[取組内容]</p> <p><u>ア 効率的・戦略的プロモーション</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●友の会入会キャンペーン実施</li> <li>●各媒体との関係強化・情報発信力アップ</li> <li>●公開リハーサル・ロビーコンサート実施</li> <li>●プレス懇談会実施によるメディアとの強固な関係構築</li> </ul> <p><u>イ WEB を活用した見やすい情報提供</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●コンサートカレンダーの発行</li> <li>●WEB サイト拡大（ホールの取組み紹介ページ、練習室の空き状況閲覧機能追加）によるアクセス数アップ</li> <li>●メールマガジンの効果的な配信</li> <li>●ツイッター運用・活用</li> <li>●WEB 上の読み物ページ作成</li> <li>●チケットセンターWEB での販売強化</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <p><u>ア 効率的・戦略的プロモーション</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>新規入会者 年間 500 名</li> <li><input type="checkbox"/>各媒体への情報掲載 月間 70 件</li> <li><input type="checkbox"/>公開リハーサル・ロビーコンサート実施 計 5 回</li> <li><input type="checkbox"/>年 1 回</li> </ul> <p><u>イ WEB を活用した見やすい情報提供</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>コンサートカレンダー 年 4 回</li> <li><input type="checkbox"/>WEB サイトアクセス数 月間 23 万件</li> <li><input type="checkbox"/>メールマガジン配信 月 1 回</li> <li><input type="checkbox"/>ツイッターでの発信 年間 100 ツィート</li> <li><input type="checkbox"/>ツイッターフォロワー 3,000 件</li> <li><input type="checkbox"/>WEB 上の読み物ページ 年 4 回配信</li> <li><input type="checkbox"/>WEB 上でのチケット購買率 15%</li> </ul>
---	---

(4) 条例の遵守

<p>[取組内容]</p> <p><u>ア 休館日</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●保守点検、定期整備、大規模修繕のため、必要な施設点検日（休館日）を設定します。</li> </ul> <p><u>イ 開館時間</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●条例及び規則に基づく設定</li> <li>●利用者の希望等、延長利用などに柔軟に対応します。</li> </ul> <p><u>ウ 利用料金等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●条例に基づいた適切な料金徴収</li> </ul> <p><u>エ 貸出業務</u></p>	<p>[達成指標]</p> <p><u>ア 休館日</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>大規模修繕に対応する 10 日以上連続休館を含み年間 40 日間の休館日を確保します。</li> </ul> <p><u>イ 開館時間</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>9：00～22：00</li> <li>■早朝利用、深夜利用など可能な範囲で対応。</li> </ul> <p><u>ウ 利用料金等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■条例に基づく適正な料金徴収を行います。</li> </ul> <p><u>エ 貸出業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■利用者ニーズに配慮し、条例・規則に基づいた貸出を実施します。</li> <li>■撮影等の利用についても柔軟に対応します。</li> </ul>
---	---

<p>オ 留意事項</p>	<p>オ 留意事項</p> <p>■ 条例、規則に基づき、設置目的や利用者の安全等に配慮した貸出を実施します。</p>
---------------	---

## 7 施設維持管理

### (1) 快適な環境を維持するとともに、安全かつ安心して利用できる施設保全

<p>[取組内容]</p> <p><u>ア 適切な管理</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● パイプオルガンやピアノの定期的メンテナンス実施</li> <li>● 舞台・音響・照明の専門業者に舞台技術を委託</li> <li>● 統括管理・設備管理・清掃管理を専門業者に委託し、相互の連携をはかる。</li> <li>● 横浜市との連携による大規模修繕計画の策定</li> <li>● QSY 管理組合や横浜市と連動した危機管理の実施</li> <li>● 過失事故の防止</li> </ul> <p><u>イ 施設維持管理業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● QSY 管理組合事務局会議、管理打合せ等に参加し、周辺との連携をはかる</li> <li>● 設備関係の点検・定期整備業務</li> <li>● 舞台関係の点検・定期整備業務</li> <li>● 設備・舞台スタッフとの小破修繕にかかる情報交換</li> </ul> <p><u>ウ 環境維持管理業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 法令等に基づき、適正な施設維持管理に努めます。空気環境測定・清掃等の仕様を定めて建築衛生環境を維持管理します。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <p><u>ア 適切な管理</u></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;"><input type="checkbox"/> 定期メンテナンス</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">年 1 回</td> </tr> <tr> <td>    ・パイプオルガン</td> <td style="text-align: right;">年 1 回</td> </tr> <tr> <td>    ・コンサートピアノ</td> <td style="text-align: right;">年 1 回</td> </tr> <tr> <td>    ・練習室ピアノ</td> <td style="text-align: right;">年 12 回</td> </tr> <tr> <td>    ・リハーサル室ピアノ</td> <td style="text-align: right;">年 1 回</td> </tr> <tr> <td>    ・楽屋ピアノ</td> <td style="text-align: right;">年 3 回</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 設備不具合や要清掃箇所など日々の連携をはかるとともに、連絡票等での対応チェックを行います。</li> <li>■ 専門業者への委託による専門知識を活用し、修繕時期の決定、省エネ提案などに反映させます。</li> <li>■ 休館日設定や、予算面などの情報交換を密にばかり、大規模修繕計画を進めます。</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> 過失事故 0 件</p> <p><u>イ 施設維持管理業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 会議への参加、必要事項を施設内に周知</li> <li>■ 点検・定期整備事項について、年間計画作成・実施</li> </ul> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;"><input type="checkbox"/> 客席保守点検：大小ホールとも</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">年 2 回</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 舞台照明定期保守</td> <td style="text-align: right;">年 3 回</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 舞台音響定期保守</td> <td style="text-align: right;">年 2 回</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 舞台機構定期保守</td> <td style="text-align: right;">年 3 回</td> </tr> </table> <p><u>ウ 環境維持管理業務</u></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;"><input type="checkbox"/> 空気環境測定</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">年 6 回</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 照度測定</td> <td style="text-align: right;">年 2 回</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ごみ分別の徹底</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> エコにつながる提案の実現 年間 1 件以上</p>	<input type="checkbox"/> 定期メンテナンス	年 1 回	・パイプオルガン	年 1 回	・コンサートピアノ	年 1 回	・練習室ピアノ	年 12 回	・リハーサル室ピアノ	年 1 回	・楽屋ピアノ	年 3 回	<input type="checkbox"/> 客席保守点検：大小ホールとも	年 2 回	<input type="checkbox"/> 舞台照明定期保守	年 3 回	<input type="checkbox"/> 舞台音響定期保守	年 2 回	<input type="checkbox"/> 舞台機構定期保守	年 3 回	<input type="checkbox"/> 空気環境測定	年 6 回	<input type="checkbox"/> 照度測定	年 2 回
<input type="checkbox"/> 定期メンテナンス	年 1 回																								
・パイプオルガン	年 1 回																								
・コンサートピアノ	年 1 回																								
・練習室ピアノ	年 12 回																								
・リハーサル室ピアノ	年 1 回																								
・楽屋ピアノ	年 3 回																								
<input type="checkbox"/> 客席保守点検：大小ホールとも	年 2 回																								
<input type="checkbox"/> 舞台照明定期保守	年 3 回																								
<input type="checkbox"/> 舞台音響定期保守	年 2 回																								
<input type="checkbox"/> 舞台機構定期保守	年 3 回																								
<input type="checkbox"/> 空気環境測定	年 6 回																								
<input type="checkbox"/> 照度測定	年 2 回																								

<p><u>エ 保安警備業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●警備会社による安定的、効率的な保安警備を行います。</li> </ul> <p><u>オ 駐車場・搬入口管理業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●警備会社による管理を行い、利用者の安全を図るとともに、施設の窓口としての対応を行います。</li> </ul> <p><u>カ 6階屋上庭園の取り扱い</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●植栽の手入れを、統括管理業者を通じて専門業者に委託します。</li> <li>●植栽や屋上の劣化状況を把握し、横浜市と共有します。</li> <li>●劣化が進行しているウッドデッキの安全確認を配慮します。</li> </ul> <p><u>キ 防災等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●QSY 防火防災管理協議会に参加</li> <li>●防災管理自主点検</li> <li>●防災設備点検</li> <li>●消防訓練・防災訓練</li> </ul> <p><u>ク 緊急時の対応</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●防災マニュアル、危機管理マニュアル</li> <li>●救急要請、事故報告</li> </ul> <p><u>ケ 有資格者の配置</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●電気主任技術者</li> <li>●建築物環境衛生管理技術者</li> <li>●ボイラー技師</li> <li>●無線従事者</li> <li>●甲種防火管理者及び防災管理者</li> </ul> <p><u>コ 条例で定める業務以外で施設を使用する場合</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●条例及び規則に基づき、利用申請について審査し、適正な手続きを行います。</li> </ul>	<p><u>エ 保安警備業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■入館チェック、巡回等による施設内の安全確保</li> </ul> <p><u>オ 駐車場・搬入口管理業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■楽屋口・搬入口の対応チェックを定期的に行います。</li> </ul> <p><u>カ 6階屋上庭園の取り扱い</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□植栽手入れ 年5回</li> <li>■日々の状況把握に努めます。</li> </ul> <p><u>キ 防災等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■地域全体での情報共有</li> <li>□年2回</li> <li>□年1回</li> <li>□避難訓練コンサート1回を含む年2回以上</li> </ul> <p><u>ク 緊急時の対応</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■施設内での周知の場を設定</li> <li>■緊急時の救急要請、事故報告を速やかに行うとともに、スタッフへの周知を徹底します。</li> </ul> <p><u>ケ 有資格者の配置</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■QSY 管理組合の電気主任技術者をもって配置にかえます。</li> <li>■管理センターに技術者を設定(ボイラー含む)</li> <li>□防火・防災管理者 職員1名配置</li> <li>□無線従事者 2名配置</li> </ul> <p><u>コ 条例で定める業務以外で施設を使用する場合</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■事例が発生する場合、速やかに手続きを行います。</li> </ul>
--	---

## 8 その他の業務

### (1) 政策協働型指定管理を推進し、横浜市の専門文化施設としての最適な管理運営の実現

<p>[取組内容]</p> <p><u>ア 政策経営協議会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●横浜市の政策に則した運営</li> </ul> <p><u>イ 計画策定及び業務報告</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●政策経営協議会での協議に基づき、政策や社会情勢を反映した、効果的に年間業務計画を策定します。</li> </ul> <p><u>ウ 業務評価</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●PDCA サイクルを徹底し、各評価の結果を政策経営協議会等で検討し、今後の運営に反映させます。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <p><u>ア 政策経営協議会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>年4回実施</li> </ul> <p><u>イ 計画策定及び業務報告</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>モニタリング 年4回以上</li> <li>■モニタリング時の情報交換を密にし、次年度の計画につなげます。</li> </ul> <p><u>ウ 業務評価</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>自己評価・横浜市評価 年2回</li> <li>■指定管理者選定評価委員会による外部評価・業務視察・ヒアリングの実施</li> </ul>
--	--

### (2) 収支計画

<p>[取組内容]</p> <p><u>ア 収入(収入向上及び外部資金導入の努力)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●協賛企業の新規獲得</li> </ul> <p><u>イ 支出(適切な支出配分、コスト削減への努力)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●管理費の多くを占めている光熱水費を節約することで、コストの削減につなげます。</li> <li>●残業を減らすことで、職場環境の改善と人件費削減を図ります。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <p><u>ア 収入</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>協賛企業を新たに開拓します。</li> </ul> <p><u>イ 支出</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>24年度比 電気使用量・冷熱水量 <math>\Delta 1\%</math></li> <li><input type="checkbox"/>24年度比 残業時間<math>\Delta 5\%</math></li> </ul>
--	--

## 9 組織に関する業務の計画

### (1) 組織について

<p>[取組内容]</p> <p><u>ア 明確な責任体制の構築</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●新たな組織図及びグループ毎の業務分担表作成</li> <li>●組織内意思決定</li> </ul> <p><u>イ 専門人材の確保と高い専門性を発揮できる組織</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●事業、運営、施設維持管理等施設全体を管理運営するために必要な人材と人員を確保し、より高い専門性を発揮できる組織づくりに努</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <p><u>ア 明確な責任体制の構築</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>企画運営会議を毎週開催し、意思決定を行う。</li> </ul> <p><u>イ 専門人材の確保と高い専門性を発揮できる組織</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■各専門性に応じた適正な人員配置を行います。</li> </ul>
---	---



めます。	
------	--

## (2) 人材育成

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●施設における組織力の向上のため、人材育成に取組みます。</li> <li>●MBOによるOJTを積極的に実施し、人材育成のツールとして積極的に活用します。</li> <li>●ホール独自の研修として、レセプションист研修、職員への個人情報研修、危機管理訓練を実施します。</li> <li>●事務局研修への参加</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■MBOの目標設定、中間・期末評価において、各自の業務の進行確認を推進し、評価のフィードバックを適切に行います。</li> <li>■レセプションист研修：6（1）参照</li> <li>■事務局研修に積極的に参加できる体制をつくります。</li> </ul>
---	--

## 10 留意事項

### (1) 保険及び損害賠償の取り扱い

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●施設賠償責任者保険、動産総合保険、レジャーサービス費用保険</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■各種保険に加入し、保険対応が必要な案件があった場合は、速やかに対応します。</li> </ul>
--	--

### (2) 法令の遵守と個人情報保護

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●公の施設の管理者として法令を遵守し、適正な個人情報の取扱いを推進します。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■個人情報取扱いマニュアルの周知徹底</li> <li>■個人情報チェックリストによる点検実施</li> </ul>
---	---

### (3) 情報公開

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●公の施設の管理者として、説明責任を果たす観点から、情報公開に対し積極的に取り組みます。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■横浜市、財団事務局との連携をはかり、情報公開を行います。</li> </ul>
--	---

### (4) 市及び関係機関等との連絡調整

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●横浜市や関連機関との連絡を密にし、情報を共有します。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■政策経営協議会や関係機関との会議はもちろん、日頃の連携をはかり、報告等すみやかに行います。</li> </ul>
---	--

## 11 収支予算額について

(単位：千円)

項目	予算額	備考
収入		
指定管理料収入	465,491	
利用料金収入	203,954	
事業収入	196,760	
助成金・協賛金	45,775	
その他収入	20,148	
合計	932,128	

支出		
人件費	208,334	
管理費	320,076	
事業費	274,435	
事務費	129,283	
合計	932,128	

収支計	0	
-----	---	--